



トピックス

日本蜘蛛学会第 56 回 大会予告

日本蜘蛛学会第 56 回大会は、次のように計画しております。

日時：2024 年 8 月 31 日(土)，9 月 1 日(日)

場所：兵庫県立人と自然の博物館

ホロンピアホール

兵庫県三田市弥生が丘 6

・参加申し込みの詳細は、メール等でお知らせします。

・大会期間中は、企画展「クモ展ー多様な 8 本脚たちの世界ー」が開催中です。

・博物館には、来館者用の駐車場はありませんので、ご注意ください。交通アクセスは、博物館の HP をご確認ください。

<https://www.hitohaku.jp/infomation/access.html>



ニュースレターとしての遊絲の検討 について

ニュースレター検討特別委員会委員長
田中幸一

本学会では、ニュースレターとして遊絲を発行してきましたが、それに関して会則・規程には明記されていませんでした。2023 年 8 月 14 日に開催された評議員会において、遊絲をニュースレターとして会則・規程に位置付ける方針が合意され、第 55 回大会の総会において報告されました。一方、評議員会では、学会会計が赤字に向かっていること、支出増加の主要因が会誌印刷費の増大によることが指摘され、会計および会誌印刷費の検討が必要であることが認識されました。それらの問題を解決するためには、Acta Arachnologica と遊絲の内容の再検討なども必要であり、評議員会で審議した結果、ニュースレターとして遊絲の内容および編集体制を検討するために、「ニュースレター検討特別委員会」が設置されました。特別委員会での検討の中で、学会誌等の印刷・発送費節減のために、学会誌等を電子媒体で配付する（学会ウェブサイトから PDF をダウンロードするなど）オプションを設けることを検討し、学会誌等の受取媒体について会員の希望を把握するために、アンケ

ートを行いました。会員の皆様には、アンケートにご協力いただきありがとうございます。

さて、そのアンケートの回答の中で、当学会の実情やアンケートの趣旨に誤解があるように思われました。そこで、本稿ではそれらの誤解に対して、説明をしたいと思います。主な点は次の三つです。（１）学会の財政が逼迫している、（２）赤字の原因は会員数が減少していることである、（３）アンケートの目的は学会誌等をすべて電子媒体にする（冊子体を廃止する）ことである。

（１）学会の財政が逼迫している

学会の財政は、現時点では逼迫していません。「学会会計が赤字に向かっている」という表現が適切でなく、誤解を招いたかもしれません。近年の決算報告が示すように、かなりの額の繰越金があります。しかし、2023年度は単年度でみれば、赤字となりました。この状態が続けば、何年後には財政が逼迫すると予想されるため、早めに対策を講じる必要が生じたわけです。

（２）赤字の原因は会員数が減少していることである

会員数は、近年は実質的に横ばい状態です。「実質的に」というのは、会費を納入している会員数で見た場合を意味します。会則では、「前年度および前々年度の会費を未納のものは、退会処分にし・・・」と定められています。以前は会費未納者も本人からの申し出があるまで会員扱いとなっていました。2021年度末の時点から、会則通りに運用することになりました。そのため、一時的に退会者が増えましたが、会費納入者の数は減少してはいません。

2023年度決算が赤字となった主な理由は、

初めに書きましたように、会費印刷費が増えたことです。会誌印刷費増大は、主に頁数の増加によるものです。近年、論文投稿数が増えており、それによって頁数が増加しています。これは学会にとって喜ばしいことですが、無制限に頁数を増やすわけにはいかず、単年度で赤字にならない程度に頁数を制限する必要があります。この点は、特別委員会で確認されました。

（３）アンケートの目的は学会誌等をすべて電子媒体にする（冊子体を廃止する）ことである

アンケートに書きましたように、アンケートの目的は、学会誌等の受取媒体について会員の希望を把握することでした。また、受取媒体を決めていただくものではなく、あくまでアンケートとして扱うことでした。アンケート結果を根拠にして、冊子体を廃止するものではありません。

アンケートには100名の会員から回答があり、結果は次のようになりました。Acta Arachnologicaについては、冊子体希望者が44%、PDF希望者が56%でした。遊絲については、冊子体希望者が21%、PDF希望者が79%でした。予想よりPDF希望者が多く、PDFでの受取に移行する会員がこのくらいいれば、印刷費や発送費の削減につながると予想されました。特別委員会での検討結果を踏まえて、評議員会により、今夏の総会に会則・規程改正案が提案されます。





すごいぞ! クモの探偵団
谷本雄治 作/羽尻利門 絵 175p.
あかね書房 1430 円 (税込)
ISBN: 978-4-251-04486-0



すたこらくものこ 殿内真帆 作 32p.
福音館書店 460 円 (税込)
「こどものとも年中向き」通巻 458 号



日本各地で採集された稀産種や、都道府県初記録、島初記録、南限更新、北限更新など分布上の重要情報について掲載する。これを読み、「私もこんな種類を採集しているぞ」という方はその情報を是非お寄せいただきたい。

【このコーナーに掲載する記録は、証拠標本か、同定のキーとなる特徴がはっきりと撮影されている写真かのどちらかがあるものに限らせていただきます。目撃談のみのものにつきましては取り上げません。また、幼体の記録についてはいろいろと議論のあるところですが、とりあえず现阶段では、投稿があれば参考記録として掲載を継続させていただきます。しかし、**幼体での記録は誤同定の危険が大きいですので、可能な限り避けてください。**】

ヤマヨリメケムリグモ 宮崎県東臼杵郡椎葉村 2023 年 5 月 20 日 1♀ 廣津敬也採集・同定

オナガヒシガタグモ 愛知県名古屋市天白区菅田三丁目 相生山緑地 2023 年 6 月 17 日 1♀ 加藤修朗採集・同定

ホンクロボシカニグモ 三重県鈴鹿市小岐須町 小岐須溪谷 (34.956533N 136.433611E) 2023 年 6 月 16 日 1♀ 加藤修朗採集・同定

ムロズミソレグモ 愛知県名古屋千種区田代町鹿子殿 炭焼き小屋周辺(35.165937N 136.981660E) 2023年12月10日 1♀ 三輪謙太郎採集・加藤修朗同定



マネキグモ 鹿児島県屋久島小瀬田 2024年3月22日 1♀ 小西祐伸採集・谷川明男同定

タニカワアシナガグモ 鹿児島県屋久島小瀬田 2024年3月22日 1♂ 小西祐伸採集・谷川明男同定

フタホシヒメグモ 鹿児島県屋久島小瀬田 2024年4月1日 1♀ 小西祐伸採集・谷川明男同定

チビクロドヨウグモ 鹿児島県屋久島長峰 2024年4月8日 1♂ 小西祐伸採集・谷川明男同定

シロオビカララグモ 鹿児島県屋久島長峰 2024年4月12日 1♀ 小西祐伸採集・谷川明男同定

リュウキュウヒメグモ 鹿児島県種子島西之表 2024年3月20日 1♀ 小西祐伸採集・谷川明男同定

(新海 明・谷川明男集約)

遊絲原稿送付先

〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603
新海 明まで

E-mail では dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp (谷川明男) まで

遊絲の発行は、年2回(5月、11月)の予定。
投稿締切は発行月の前月末日(4月末と10月末)です。

日本蜘蛛学会

homepage : <http://www.arachnology.jp/>

Atypus 閲覧のパスワード ■ ■ ■

会費の納入、住所変更などは会員マイページでのご操作をお願いいたします。

年会費 正会員 7000 円 (学生は 3500 円)

会長・幹事

会 長

中田兼介 nakatake+at+kyoto-wu.ac.jp

庶務幹事

桑田(楠瀬)隆生

kuwada.takao+at+nihon-u.ac.jp

繁宮悠介 shigemiyu+at+tuins.ac.jp

会計幹事

高田まゆら mayura.203+at+g.chuo-u.ac.jp

編集幹事

鈴木佑弥 sasaganiya1206+at+gmail.com

図書幹事

原口 岳 h1r1g3ch2+at+gmail.com

遊 絲 第 54 号

2024 年 5 月 31 日 発行

編集者 新海 明, 谷川明男, 池田博明

発行者 日本蜘蛛学会 会長 中田兼介
